ISC CORPORATION

Established 2001

Shipbrokers and Consultants

Specialists in Chemical Tankers

〒105-0004 東京都港区新橋3-4-10 新橋企画ビルディング2階
電話: 03-6205-4838　Fax: 03-6205-4839　Email: common@isc-corp.jp

ISC CORPORATION　会社紹介

会社概要

所在地:	〒105-0004 東京都港区新橋3-4-10 新橋企画ビルディング2階
電話番号:	03-6205-4838
ファックス:	03-6205-4839
従業員紹介:	● 堀内 智明 (ほりうち ともあき) - 代表取締役 ● 渡辺 鎮雄 (わたなべ しずお) - テクニカルコンサルタント全般 ● 東 まどか (ひがし まどか) ● 森原 顕正 (もりはら けんしょう) ● 横山　謙太郎（よこやま　けんたろう） ● 松井　暢皓（まつい　のぶひろ）- アシスタント ● 辻　今吹生（つじ　いぶき）ーアシスタント
会社設立日:	平成13年6月19日
資本金:	1,000万円
株主:	堀内智明
従業員数:	10名
取引銀行:	◆ 三井住友銀行八王子支店 ◆ みずほ銀行銀座支店
平成28年売上実績:	2億6千万円
会社ウェブサイト:	http://isc-corp.tech/

提供サービス

提供サービス

- 新造船ビジネス
- 傭船契約ビジネス
- テクニカルコンサルタント (新造船建造監督、検査立会い、保険修理の見積り)
- 売船及び船価鑑定
- 海外ドック手配
- 船舶技術の情報提供

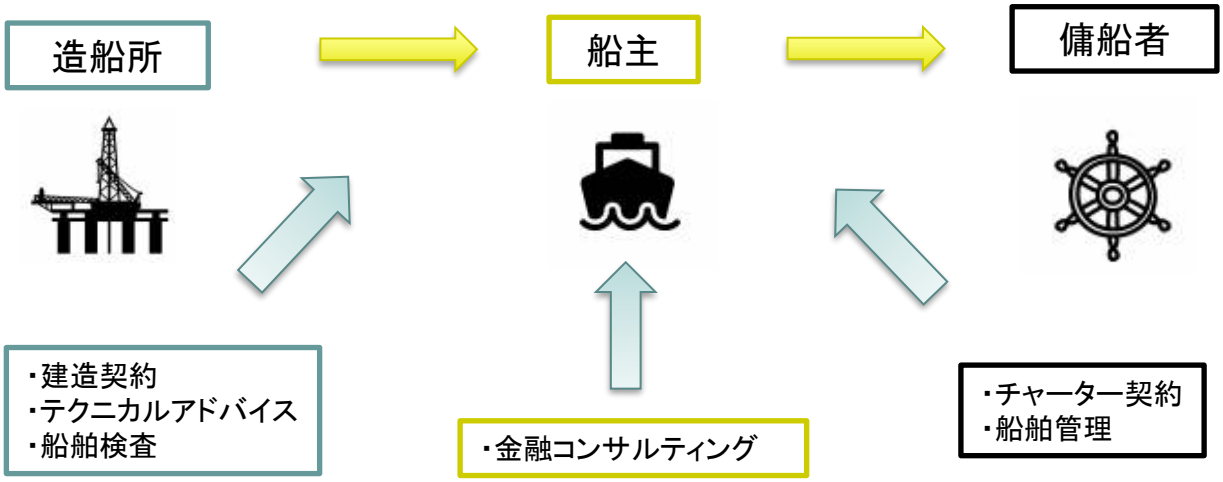
● 新造船

株式会社アイエスシーは、平成13年に堀内智明によってケミカルタンカーを専門とするブローカー&コンサルタントとして設立されました。過去10年以上にわたり、ケミカルタンカーの新造船発注残と、それらの長期傭船契約を35隻、建造契約船価にして約1,100億円にもおよぶ契約（船主と造船所間）の仲介をしています。

これらのケミカル船は、ストルトニールセン、オドフェル、東京マリン（現在のMOLケミカルタンカー）、川崎汽船、ユニコーンタンカー、鶴見サンマリン、及びアイエムシーと言った、一流の運航会社によって傭船されています。

更には、日本の中手造船及びABS船級協会と協力し、ステンレス鋼に代わる、ケミカルカーゴに対する腐食性にも富んだマリンラインコーティングの建造にもトータルコーディネーターとして取り組んでいます。

参考イメージ図 – 新造船建造:



● テクニカルコンサルタント

アイエスシーは「金融業者」「造船所」「傭船者」をはじめとするすべての組織と連携しながら、国内船主のために建造契約および定期傭船の仲介を行っています。過去の建造監督・船舶管理の経験で築いた「高度なケミカルタンカーとプロダクトタンカーに関する知識」を活かし、新造船建造過程において以下のサービスを提供いたします:

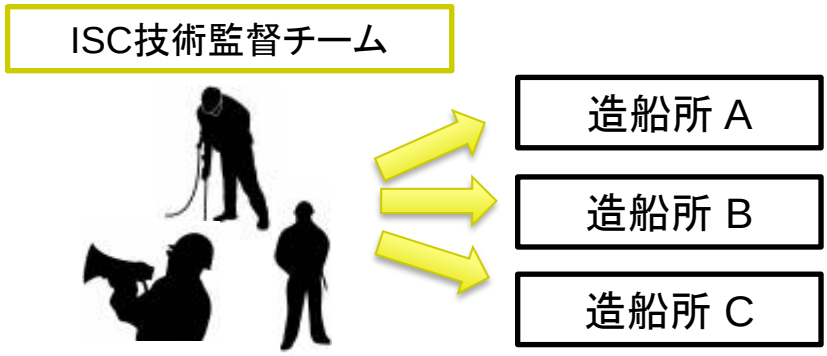
- ハイレベルな技術ノウハウおよびサポート - 交渉の段階から助言いたします。
- ケミカル業界の最新情報
- 保証工事の軽減
- 構造的・技術的問題点に関する造船所への提言

過去の案件では、数隻のケミカルタンカーの新造船契約において、非常に妥当な費用で建造監督を請け負いました。アイエスシーは、ブロック段階からステンレス鋼の溶接工程の監督、図面承認、船員教育、ISMマニュアル作成を含む、フルサポートを提供することができます。

保証工事においては、管理会社から造船所に出されるであろう、数多くのクレームを事前に精査し、本当に造船所が支払うべき費用かどうかを短時間で協定することに努めています。保証工事のみならず、各メジャーの検査で指摘された注意事項があればそれらも造船所にフィードバックし、以降の新造船建造に活かせるよう、明確な意図をもってサポート業務に尽力いたします。

船主が海外の船舶管理会社を起用する場合には、彼らとも密に連絡をとり、CDIや各メジャーの検査受検の手助けをすべく、造船所の建造情報データを事前に提供しています。アイエスシーのサポートによって建造された船は、傭船者にとっても非常に使い勝手のよい船となり、後の運航効率を上げることが可能です。

参考イメージ図 – ISC技術監督チームによるテクニカルサポート:



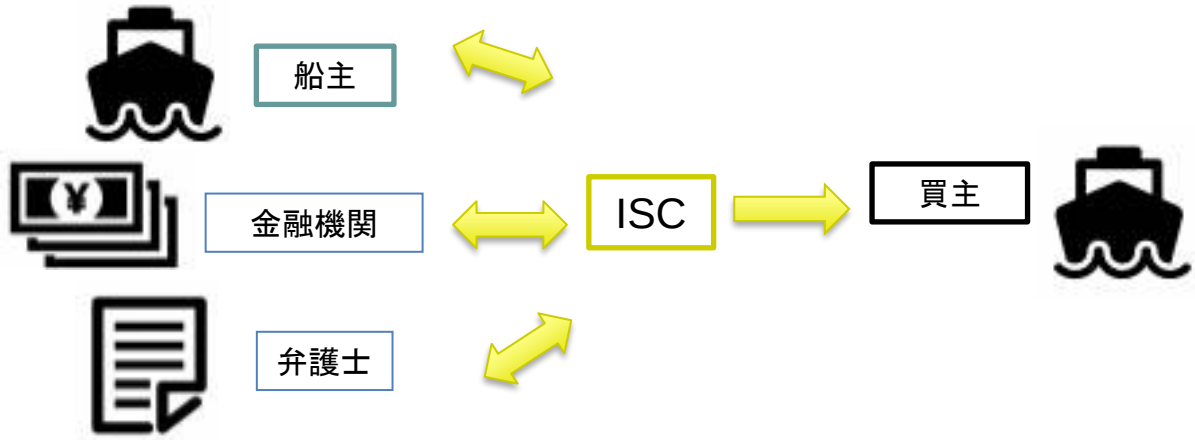
● 引渡し後のアフターサービス

アイエスシーは、引渡し後も船主と傭船者が共に成功を分かち合い、お互いの有益になる交友関係を継続できるようサポートを行っております。中には船主が傭船者との信頼関係を継続できるよう、論争中の仲裁役にアイエスシーが深く関与し、オフハイアの時間を最小限に食い止めた事例もあります。

● 売船及びマーケットレポートの作成

アイエスシーは中古船売買のブローカーとして、約100隻の売船成約案件に携わってきました。その中にはタンカー(ケミカル/ガス/プロダクト)のほか、バルカーやタグボートも含まれます。売買船(S&P)事業では、幅広いネットワークに加え、高度な専門知識も要求されます。ISCはその分野の専門家として、案件に関わる全ての皆様に最高のサービスが提供できるよう、常にアクティブに仲介業務に従事しています。

参考イメージ図 – 中古船売買契約仲介:



● 傭船契約の仲介

傭船契約の仲介においても、アイエスシーはケミカルおよびプロダクトタンカー、加えてバルカーについて60件以上の成約実績があります。船主と傭船者が長期に亘って良好な関係を維持できるよう、ブローカーとして交渉を請け負います。マーケットの動向および新ルールを調査し、どのような傭船案件にも柔軟に対応いたします。

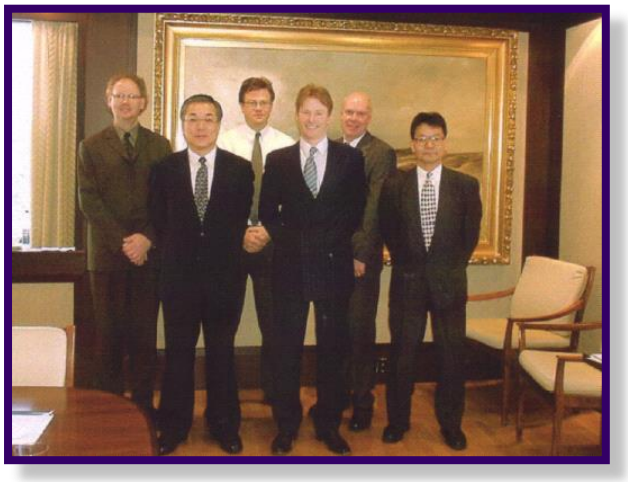
傭船ビジネスを成功に導くためには、スキルに富んだテクニカルマネージャーの存在が不可欠です。アイエスシーの経験豊富なスタッフが、船主の要望に応じて幅広いサービスを提供いたします。

参考イメージ図 – 傭船契約仲介:

業務実績

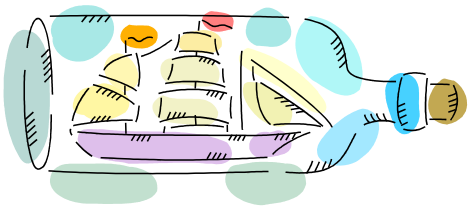
• 日本、及び、ヨーロッパ船主の約50隻の新造船ケミカルタンカー 12,500から33,000トン数の建造契約、傭船の仲介

平成14年ノルウェーにて、
JO Tankers 新造船調印式



当社は、ケミカルタンカープロジェクトを、建造計画から最後の売船まで
<ゆりかごから墓場まで> のフルサポートを提供することを日本の船主に対して最初に紹介したブローカーです。

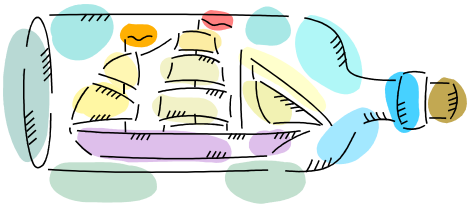
- ケミカルタンカーの全てのサービス<造船所発注・ファイナンサーアレンジ・傭船者コミットメント> を提供するシップブローカーとしての先駆者となる。
- 日本船主のケミカルタンカーのマリンラインのリコーティングを日本で初めて責任施工工事として手配。
- ABS船級 IMO 2 新造船ケミカルタンカーのマリンラインコーティングを日本で最初に契約、造船所へフルテクニカルサポートを提供。



ISC CORPORATION　実績

平成18年南アフリカにて、
“K” Line and Unicorn Tankers の
新造船調印式

- 保険会社にアポイントされステンレスカーゴタンクの事故を速やかに効率よく修繕するための技術サポートの工事に携わってきた。
- 多種多様の船を、売り主、買主、両方の代理、或いは、仲介者として、売船の取引を成功させた。
- 日本国内にて与信のない海外の買主に代わり大阪市所有のタグボートを弊社が落札し、全ての教務を代行し、資格変更、輸出手続きをおこなった。

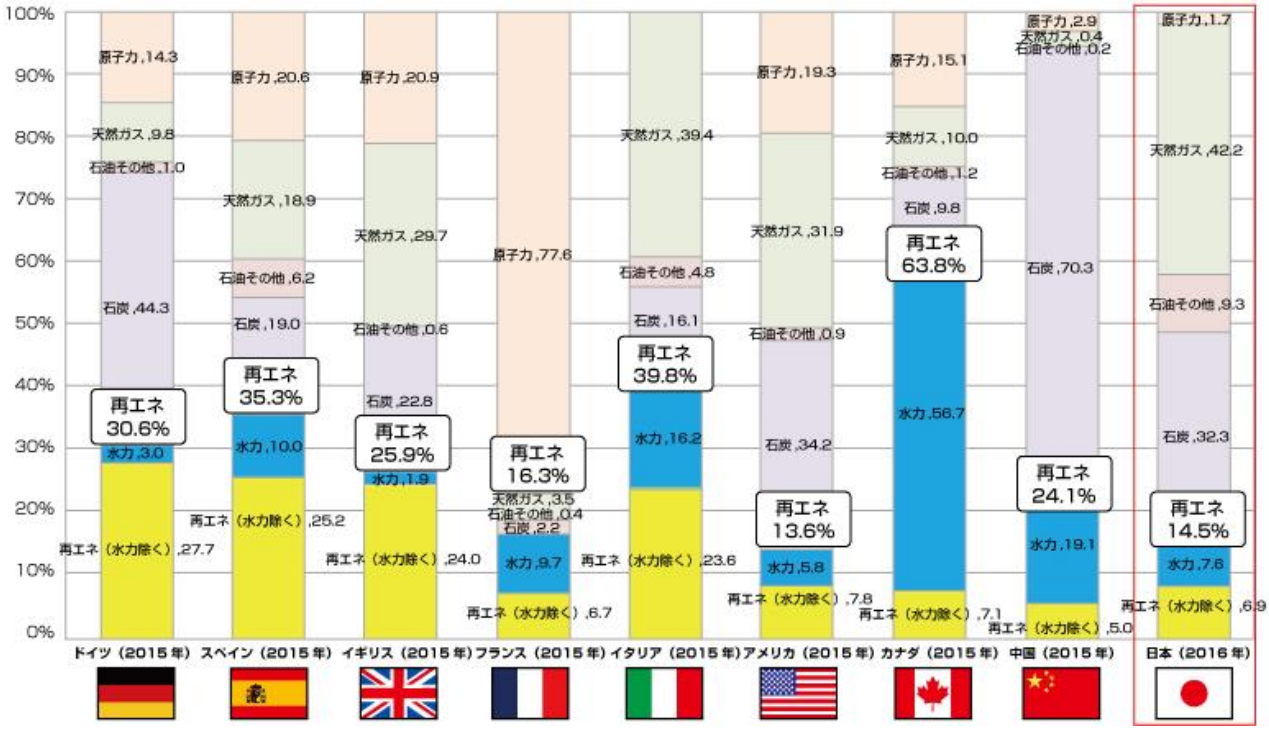


● バイオマス発電用燃料の輸送コンサルタント事業及び運航委託事業

再生可能エネルギーの一部であるバイオマスは、カーボンニュートラルの理論から、排出する温室効果ガスを減少させ、国内外で生産できることから今後の日本の重要なエネルギー源となります。

現在、多くのバイオマス発電用燃料は海外からの輸入に頼っており、その大部分が小型(1-20,000dwt)の近海貨物船により輸送されています。今後増加が期待されるバイオマス発電用燃料(PKS、木質ペレット)に着目し、今まで培ってきた弊社の輸送契約に関する経験、近海船を保有する船主との繋がりを最大限活用し、バイオマス発電用燃料(PKS、ペレット)の輸送コンサルタント事業、及び運航委託事業を開始いたします。現実論として、近年の船舶大型化により、近海船のコストは相対的に上昇しているため、造船所/船主にとっても建造が敬遠されがちな船種ではありますが、最近バイオマス燃料輸入量が増加傾向にあります。日本建造の近海船が今後不足し、市場に供給される船腹量が減少するのではないかとの予想が出ています。もしそれが起こった場合、運賃/傭船料が上昇することにより、燃料コスト全体に与える影響が大きくなり、結果として安定的な船腹量の確保、及びプラント運営のコストが読みにくくなる可能性があります。

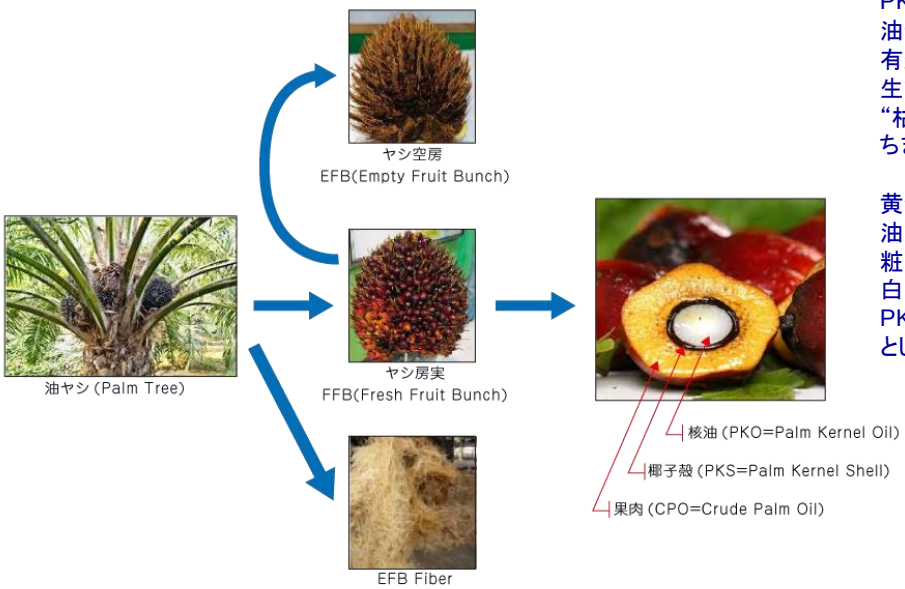
参考 – : 発電電力量に占める割合 (出典: 資源エネルギー庁調べ)



● バイオマス発電用燃料の輸送コンサルタント事業及び運航委託事業

アイエスシーとしては、近海船(ケミカルタンカー/貨物船) を輸入者自身が長期で傭船することにより、安定的なスペースの確保するお手伝いさせていただきます。傭船後には本船/船主との調整業務、保険付与、代理店とのやりとりなど、本船の運航/管理に関する業務をお受けすることも可能です。

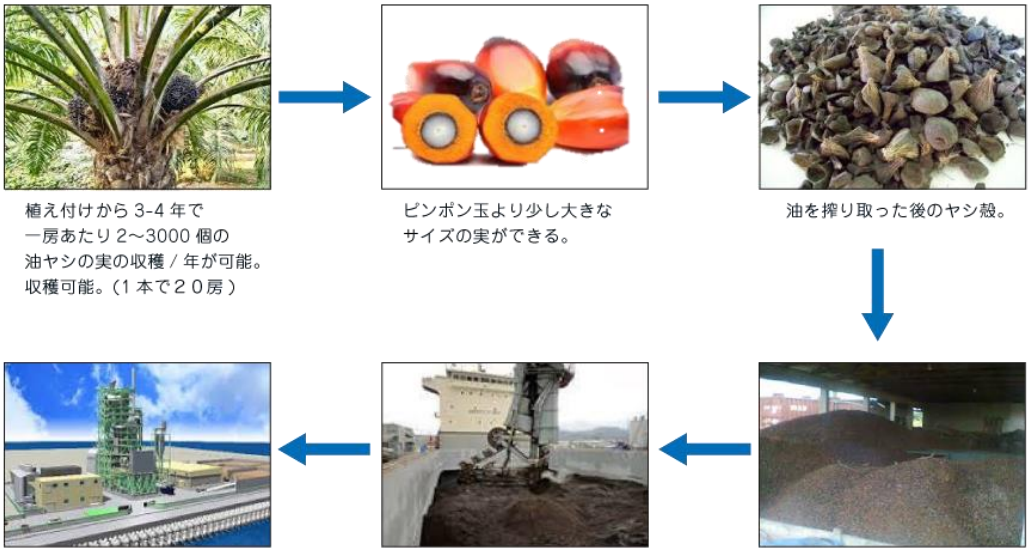
PKS (Palm Kernel Shell) とは



PKSは油ヤシのヤシ殻です。油ヤシは捨てるところがなく有効利用される資源の優等生で、油ヤシの木と果実は“枯れない油田”の別名を持ちます。

黄色い実の部分からは食用油、白い部分からは高級化粧品油、搾かすも利用され、白い部分を覆う黒い部分がPKSとして世界の発電燃料として注目されています。

PKSの出荷について



● 株式会社TCMSとの業務提携

ISCコーポレーションは、監督派遣および技術コンサル業を行う株式会社TCMSをマーケティングの観点からアシストします。

< 会社紹介 >

株式会社TCMS

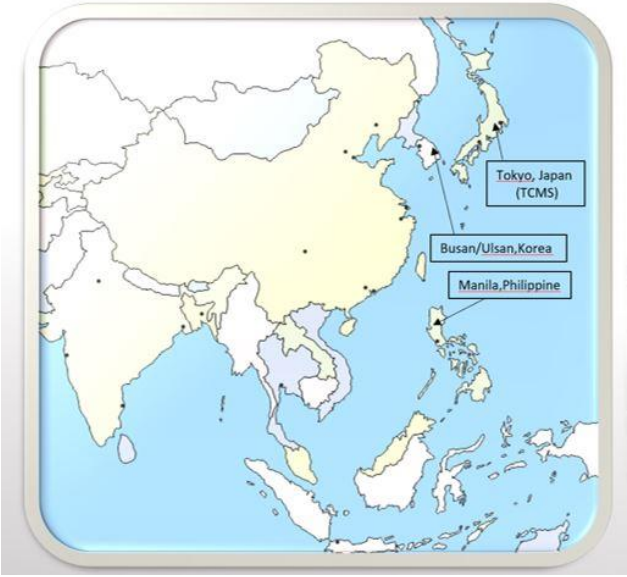
2019年9月東京にて設立。
ケミカルタンカーのテクニカル面に特化した
サポート業務を提供します。また船種を問わず、新造船の建造監督事業、Pre-Purchase Inspection、マリンコンサルタントなど、幅広いサービスを展開しています。

＊随時、建造監督・工務監督を募集しています。ご興味のある方はご連絡ください。

TEL: 03-6205-4838
E-Mail：common@tcms.jp.net
担当：片桐 博樹

< TCMSのGlobal Network >

アジア (マニラ / 東京 / 釜山 / 上海 / シンガポール/ チッタゴン) の経験豊富なSIが御社の船をサポートいたします。
日本国内はもとより、韓国・フィリピンへも検査員の派遣が可能です。



● その他関連事業

① ケミカル/プロダクトタンカー 実務セミナー

ケミカル/プロダクトタンカーの実務セミナーを行います。対象となる企業は、海運会社の運航に関連する方に加え、商社やメーカーなどで、海運の実務を行っている方も対象です。
2019年11月からは海運集会所でも同セミナーを開催予定です。個別企業への対応も検討いたします。

一般社団法人 日本海運集会所 The Japan Shipping Exchange, Inc. X ISC CORPORATION Shipbrokers & Consultants

② [Column & Report] ～海運業界問わず語り～

海運業界についてコラム/レポートを月に一度配信しています。
配信をご希望の方はreport@isc-corp.jpまでご連絡ください。

Supported by:

STEAMSHIP MUTUAL　Atech Marine Equipment　On-site Report watches renewable energy　CENTI PARTNERS

③モンゴル不動産事業

成長著しいモンゴル・ウランバートルにてオフィスビルの一部を取得し、運用しています。

主なモンゴル不動産の魅力
① 著しい経済成長と人口増加率
② ビジネス環境がよく、申請等の行為が比較的容易に進められる
③ 不動産需要が高いため、在庫リスクが低いうえに開発利益は高い
④ 外国人でも区分所有権が持てる
⑤ 金融セクターがきちんと機能しており、お金の移動が容易かつ金利も高い

主要顧客リスト

インターナショナルオペレーター

- Stolt-Nielsen
- Odfjell
- MOL Chemical Tanker
- Ultranav Group
- K Line
- Aurora / IMC
- Wilmar / Raffles
- Navig8
- EPIC

日本船主＆オペレーター

- 安保商店
- 旭商船
- 三豊運輸
- 日新汽船
- 久福汽船
- ガルバ興業（千鳥海運 / Sky Shipping）
- 鶴見サンマリングループ
- ENEOS (JX) Ocean
- ショクユタンカー / SU Navigation

日本造船所

- 福岡造船
- 新来島どっく
- 浅川造船
- 臼杵造船所
- 北日本造船
- 神田造船
- 旭洋造船